

発行部数 350部

平成8年4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、3,762,958冊で、県民1人当たり1.77冊（前年度1.67冊）、年間増加蔵書冊数は、236,790冊である。

また、平成7年度中の貸出図書冊数は、4,554,092冊（県民1人当たり2.13冊）であり、前年度と比べると総冊数では11,798冊の減である。

(3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の情報誌として、第31～32号を発行し県内の図書館、公民館等に配付した。

発行部数 各300部

・会場 福島県立図書館

・参加者 図書館関係者

40名

4 県内大学図書館間相互利用制度

県内の大学図書館と公共図書館との協力体制として「福島県内大学図書館間相互利用制度」があり、その「図書館資料の相互貸借」「複写」「参考業務」及び「一般社会人への共通利用証発行」である。

この制度利用参加市町村立図書館は、県立図書館を含め福島県市立図書館、二本松市立図書館、郡山市中央図書館、須賀川市図書館、白河市立図書館、会津若松市立会津図書館、喜多方市立図書館、相馬市図書館、原町市立原町図書館、いわき市立中央図書館、船引町図書館、小野町ふるさと文化の館、双葉町図書館である。

第5節 図書館協力

1 相互協力

県内公共図書館の資料・調査・協力のためのセンターとして、また多様化・高度化する利用者要求に応えるため、県内外の各種機関との連携・協力関係の促進を図った。特にその中核となる資料の相互貸借には意を注ぎ、条件整備と関係の緊密化に努めた。

〔表10〕相互貸借件数

区分		県内	県外	計
貸出	件数	928	51	979
	冊数	2,287	71	2,358
借用	件数	28	48	76
	冊数	41	66	107
計	件数	956	99	1,055
	冊数	2,328	137	2,465

2 県立図書館職員研修会

図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎年行っている。

- ・テーマ レファレンス・サービスの意義と技術
- ・期日 平成8年9月6日
- ・会場 福島県立図書館
- ・参加者 図書館・公民館・関係機関職員 49名
- ・講師 東京都立多摩図書館 斎藤文男

3 図書館協力事業連絡会議

全県的な図書館のサービス網の充実を図ることを目的として、県内公共図書館間の協力体制のあり方や今後の図書館業務の方向について協議した。

- ・議題 電算ネットワークについて
協力体制の推進について
- ・期日 平成8年7月5日